

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成25年度発生予察技術情報第7号（果樹カメムシ類）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成25年度技術情報第7号

8月上旬のヒノキ球果での寄生状況調査でチャバネアオカメムシが多く確認された。本年のヒノキ球果量は全体的に少ない傾向にあり、ヒノキから早期に離脱して果樹園へ飛来し、加害する恐れがあるので、発生状況に注意が必要である。

1 対象作物 カンキツ、ナシ、カキ、ブドウ等

2 情報の根拠

- (1) 出水市予察灯の8月第1半旬の誘殺数はツヤアオカメムシが273頭（前年23頭，平年42頭），チャバネアオカメムシが661頭（前年14頭，平年18頭）で，多い状況が続いている。また，南さつま市加世田，いちき串木野市，薩摩川内市に設置している予察灯でも，誘殺数が平年より多い状況である（表1，図1）。
- (2) ヒノキ球果寄生状況調査では，12地点中10地点でカメムシ類の成・幼虫が確認され，特に，チャバネアオカメムシの寄生虫数は16.3頭/地点（うち，幼虫2.7頭）で，前年の13.2頭/地点（うち，幼虫2.5頭）と比べてやや多い（表2）。
- (3) ヒノキ球果では，老齢幼虫が確認されており，新成虫がすでに発生している可能性が高い（図2）。
- (4) カメムシ類は，口針鞘数（吸汁痕数）が約25本/果を越えるとヒノキの樹上から離脱する。8月上旬の平均口針鞘数は14.8本/果（前年1.2）で，7月下旬の5.8本/果（前年0.1）よりも増加しており，ヒノキから早期に離脱し，局地的に果樹園へ飛来する可能性が高い（表2）。
- (5) 薩摩川内市，霧島市では，一部のナシ園，ブドウ園でカメムシ類の被害果が確認されている（聞き取り）。また，さつま町では，巡回調査ほ場のナシ園でチャバネアオカメムシの寄生を確認している。

3 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の飛来は地域間差，ほ場間差があるので，園内の発生状況の把握に努め，発生に応じて防除を行う。
- (2) 山林（ヒノキ，スギ）に近い果樹園ほど飛来が多くなる傾向があり，特に，防風樹としてヒノキを植栽している園地では注意する。
- (3) 飛来を認めた場合，一回目の防除は残効の長い合成ピレスロイド系薬剤またはネオニコチノイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は，ハダニ類の発生を助長するので散布後の発生に注意する。
- (4) 防除にあたっては，防除薬剤の使用回数や使用時期を厳守し，収穫期の近い樹種では，収穫開始予定日を想定して農薬を選定する。
- (5) 黄色蛍光灯（波長500～600nm）を集団点灯するとチャバネアオカメムシへの飛来防止効果が高い。
- (6) 果実への袋かけや防虫網（網目：4mm）の被覆は，被害を軽減できる。

<参考資料>

表1 予察灯におけるカメムシ類の誘殺状況（7～8月）

ツヤアオカメムシ

半旬	垂水市 1)		南さつま市 2)		いちき串木野市 3)		薩摩川内市 4)		出水市 5)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7月 1	10	20	66	54	20	47	0	23	20	17
2	5	15	94	27	11	24	1	12	174	29
3	8	37	57	21	12	21	-	10	36	13
4	2	17	12	24	1	20	9	9	25	15
5	0	31	0	26	2	15	9	6	63	21
6	1	42	32	33	4	17	33	11	227	29
8月 1	1	31	87	43	123	46	16	31	273	42

チャバネアオカメムシ

半旬	垂水市 1)		南さつま市 2)		いちき串木野市 3)		薩摩川内市 4)		出水市 5)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7月 1	18	56	53	30	2	43	4	88	9	9
2	16	29	85	12	4	39	0	57	133	9
3	14	29	56	15	2	39	-	62	62	8
4	5	17	73	18	0	23	110	37	42	8
5	0	48	40	36	26	31	177	42	255	11
6	4	98	42	22	39	14	304	31	825	19
8月 1	5	114	110	27	86	58	185	64	661	18

1) 農業開発総合センター果樹部（垂水市）， 2) 南さつま市加世田唐仁原， 3) いちき串木野市湊町

4) 農業開発総合センター果樹部北薩分場（薩摩川内市東郷町）， 5) 出水市美原町

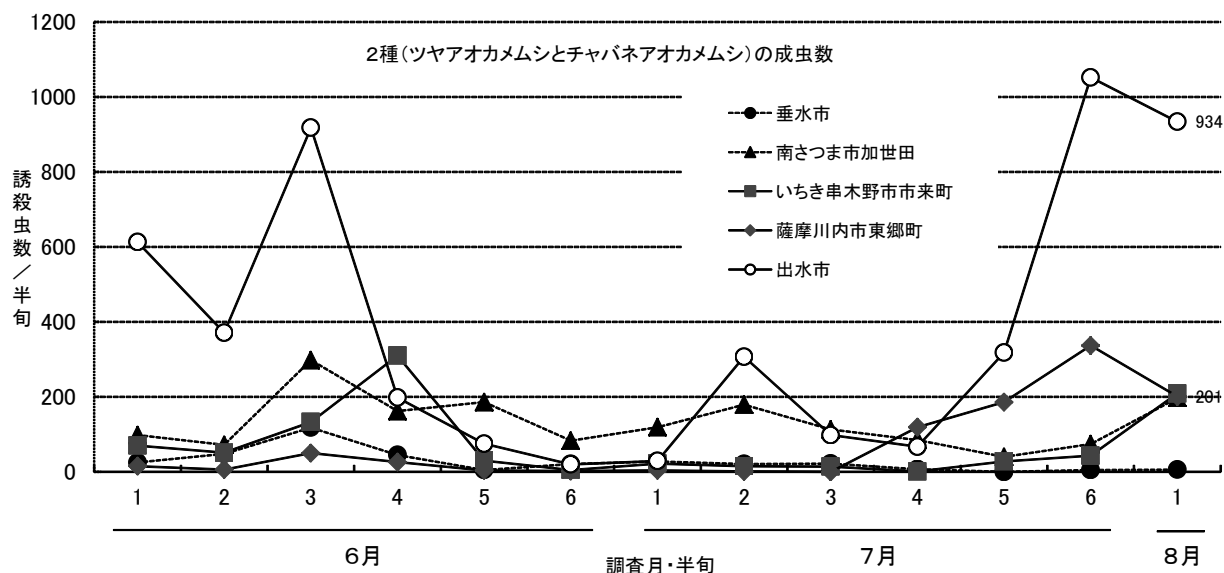


図1 予察灯におけるカメムシ類（2種計）の誘殺状況（平成25年）

表2 ヒノキ球果でのカメムシ類寄生数¹⁾及び口針鞘数(8月上旬調査)

調査場所	平成25年 ²⁾			平成24年 ³⁾		
	ツヤアオ カメムシ	チャバネアオ カメムシ	平均 ⁴⁾ 口針鞘数	ツヤアオ カメムシ	チャバネアオ カメムシ	平均 ⁴⁾ 口針鞘数
いちき串木野市1	2(0) ⁵⁾	39(9) ⁵⁾	17.0	1(0) ⁵⁾	21(10) ⁵⁾	0.7
いちき串木野市2	0(0)	2(2)	13.0	7(0)	34(7)	4.6
薩摩川内市東郷町	0(0)	12(0)	19.8	0(0)	0(0)	0.6
さつま町	0(0)	11(4)	21.8	0(0)	13(2)	0.9
阿久根市	0(0)	9(1)	12.7	2(0)	18(2)	0.4
出水市高尾野町	2(0)	13(1)	9.9	2(0)	5(1)	0.1
出水市1	0(0)	24(0)	10.6	4(0)	10(0)	2.1
出水市2	0(0)	27(1)	11.3	2(1)	13(4)	3.0
霧島市溝辺町	4(1)	43(12)	26.8	1(0)	3(0)	0.1
垂水市	1(0)	15(2)	10.7	2(0)	18(2)	0.3
南さつま市加世田	0(0)	0(0)	12.0	13(1)	4(0)	0.5
日置市吹上町	0(0)	0(0)	12.5	2(0)	19(2)	1.4
平均	0.8(0.1)	16.3(2.7)	14.8	3.0(0.2)	13.2(2.5)	1.2

注) 1. 調査方法は、1地点で10ヶ所を選定し、1ヶ所当たり5枝(計50枝)から捕虫網によりそれぞれ5~7回振り落としとして回収した。
 2. 調査は、平成25年8月1~6日に実施した。
 3. 平成24年のデータは、8月2~6日に調査した結果である。
 4. ヒノキ球果1果当たりの口針鞘数(ヒノキ球果20果/地点を調査した平均値)
 5. 数字は、成虫・幼虫の合計値で、()内は幼虫数である。

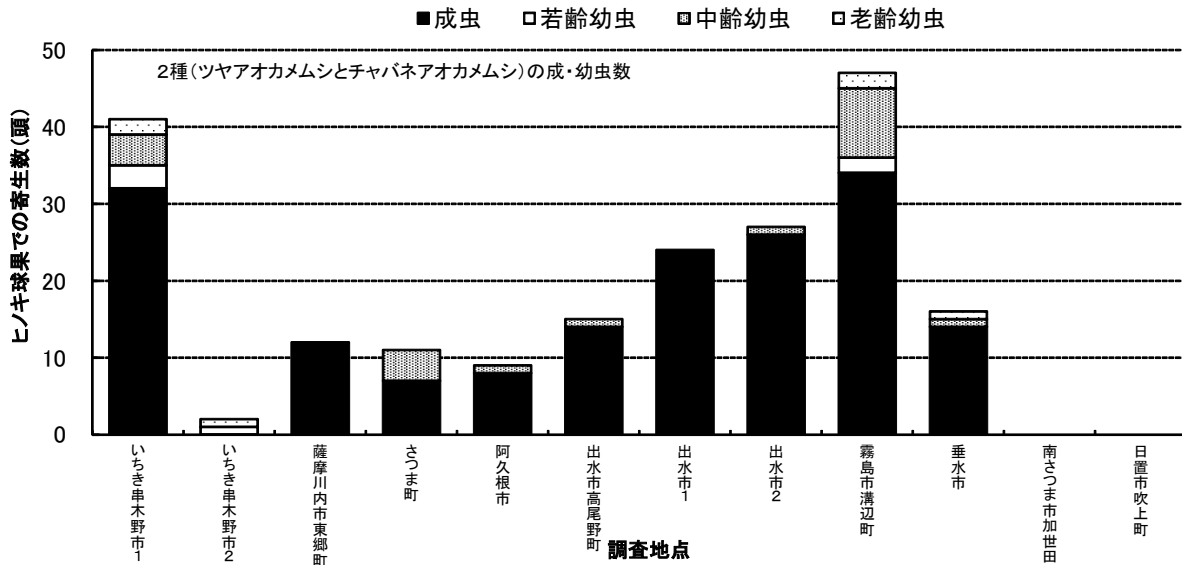


図2 ヒノキ球果でのカメムシ類(2種計)の寄生状況(平成25年8月上旬調査)

注) 成・幼虫数: 1地点で10ヶ所を設定し、1カ所当たり5枝から捕虫網によりそれぞれ5~7回振り落としした合計値